

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

引当金等の計上基準

・退職金給付引当金

職員に対する退職給付の支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

なお、当期減少額1,114,500円は、職員の退職に伴う退職手当支給額である。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	0	0	0	0
特定資産				
保健事業安定化基金資産				
定期預金	0	0	0	0
管理会計安定化資産				
定期預金	6,095,000	0	0	6,095,000
退職給付引当資産				
定期預金	4,996,155	337,860	1,114,500	4,219,515
小 計	11,091,155	337,860	1,114,500	10,314,515
合 計	11,091,155	337,860	1,114,500	10,314,515

3. 特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち、指定正味財産 からの充当額)	(うち、一般正味財産 からの充当額)	(うち、負債に対応す る額)
特定資産				
管理会計安定化資産				
定期預金	6,095,000	(0)	(6,095,000)	(0)
退職給付引当資産				
定期預金	4,219,515	(0)	(0)	(4,219,515)
合 計	10,314,515	(0)	(6,095,000)	(4,219,515)